

港区東海学区

震災避難行動マップ

凡 例

	指定緊急避難場所(津波避難ビル)
	広域避難場所
	地下式給水栓
	雨水貯留施設
	コンビニエンスストア
	公衆電話
	AED
	指定避難所
	地域防災協力事業所
	街頭消火器
	下水道直結式仮設トイレ (マンホールトイレス)

地域防災協力事業所

1	ホームセンターコーナン南十番町店 (住所)南十番町1-1-2 (内容)一時避難場所(駐車場の一部)
2	立石海苔店 (住所)九番町5-19-3 (内容)厚手の段ボールの提供等

中川運河

24h

大津波や高潮の危険が迫っているときには、大切な命を確実に守るために、お住まいの3階以上へ避難をしましょう！

わが家の津波避難先

① _____

② _____

各家庭で津波避難先を書き込みましょう

中川区
熱田区

中川区

熱田区

冠水に注意！



東海コミュニティセンター

1丁目

1 ホームセンター
コーナン
南十番町店

AED

1丁目

2丁目

3丁目

4丁目

5丁目

6丁目

7丁目

8丁目

9丁目

10丁目

11丁目

12丁目

13丁目

14丁目

15丁目

16丁目

17丁目

2号棟
中駒九番団地

3号棟
(東校舎棟)

4号棟
1号棟

5号棟

6号棟

7号棟

8号棟

9号棟

10号棟

11号棟

12号棟

13号棟

14号棟

15号棟

16号棟

17号棟

18号棟

19号棟

20号棟

21号棟

22号棟

23号棟

24号棟

25号棟

26号棟

27号棟

28号棟

29号棟

30号棟

31号棟

32号棟

33号棟

34号棟

35号棟

36号棟

37号棟

38号棟

39号棟

40号棟

41号棟

42号棟

43号棟

44号棟

45号棟

46号棟

47号棟

48号棟

49号棟

50号棟

51号棟

52号棟

53号棟

54号棟

55号棟

56号棟

57号棟

58号棟

59号棟

60号棟

61号棟

62号棟

63号棟

64号棟

65号棟

66号棟

67号棟

68号棟

69号棟

70号棟

71号棟

72号棟

73号棟

74号棟

75号棟

76号棟

77号棟

78号棟

79号棟

80号棟

81号棟

82号棟

83号棟

84号棟

85号棟

86号棟

87号棟

88号棟

89号棟

90号棟

91号棟

92号棟

93号棟

94号棟

95号棟

96号棟

97号棟

98号棟

99号棟

100号棟

101号棟

102号棟

103号棟

104号棟

105号棟

106号棟

107号棟

108号棟

109号棟

110号棟

111号棟

112号棟

113号棟

114号棟

115号棟

116号棟

117号棟

118号棟

119号棟

120号棟

121号棟

122号棟

123号棟

124号棟

125号棟

126号棟

127号棟

128号棟

129号棟

130号棟

131号棟

132号棟

133号棟

<p

地震発生！災害時の対応

港区東海学区 災害時の特性と対策

南海トラフ巨大地震が発生した場合、震度6強の非常に激しい揺れが想定されます。自分の身を確実に守るため、日頃から家具の転倒防止などの耐震対策に努めましょう。

また、津波が他の地区よりも早く到来します。名古屋港には最短96分(※)で津波が到達し、その後最大3.6mの津波がさかのぼります。津波が見えてからでは避難が間に合わないので、限られた時間を使って津波避難ビルへ避難しましょう。

液状化現象も起きる可能性も高く、建物が傾いたり、路上に泥水が溢れ出したりして通れなくなる恐れがあります。これらを踏まえ、適切な避難先、そこまで安全にたどり着くための経路を日頃から考えておきましょう。

(※)30cmの津波が到達する時間。30cmの津波でも、人は早い流れに巻き込まれて流される可能性があります

●身の安全の確保

- ・倒れそうなタンスなどの家具、ガラス戸から離れる
- ・机の下に隠れて、机の脚を持ち低い姿勢で身を守る
- ・安全に消せる場合は、火を消す
- ・可能であれば、扉を開けて出口を確保する
- ・屋外にいる場合は、建物やブロック塀など、倒壊の危険がある場所からすぐ離れる



提供 効果的な防災訓練と防災啓発提唱会議

じしんはっせい
地震発生
ゆ
揺れが
おさまった

津波から
安全に避難
するための
5つの
ポイント

①揺れが収またら高台へ。
時間がなければ津波避難ビルへ避難！



②隣近所へ声をかけ、
原則、徒歩で避難！



③高齢者や障がいのある方
などの避難支援を！



④引き返さない！
安全確認が済むまで避難継続を！



⑤海岸や河川には
絶対近づかない！



津波発生時の地域での声かけ・避難支援

隣近所など地域での「声かけ」と「避難支援」が大事な命を救います。地震の揺れがおさまったあとは、

地域の皆さんで声かけをし、いち早く避難行動が取れるよう協力しましょう。また、日頃から一人で避難できない方（高齢者・障がいのある方など）を把握しておきましょう。

情報の入手や判断が難しい方
(例えばこんな方)
目が見えない方、耳の聞こえない方、認知症の方、知的障がいのある方、日本語が苦手な外国人、ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯など

(対応方法)



優しい言葉で
ゆっくり声かけ



メモや、身振り
手振りで伝える

移動が難しい方
(例えばこんな方)
普段、杖・押し車・車椅子などを使っている人、寝たきりの人、けが人、病人、妊婦さんなど

(対応方法)



複数で手伝う



身近にあるものを利用する

<一戸建てにお住まいの方>

- ① 町内の組単位で「声かけ」して無事を確認しあう
- ② 無事が確認できた住民同士で、無事が確認できないお宅へ「大きな声で」声かけを繰り返す
- ③ 一人で避難できない方を助けながら、近くの津波避難ビルへ避難する
- ④ 津波到達予測時刻の30分前までに避難完了する

<集合住宅にお住まいの方>

- ① お住まいの階ごとに「声かけ」して無事を確認しあう
- ② 無事が確認できた住民同士で、無事が確認できないお宅へ「大きな声で」声かけを繰り返す
- ③ 一人で避難できない方を助けながら、住宅の3階以上へ津波避難する
- ④ 津波到達予測時刻の30分前までに避難完了する

つなみひなん
津波避難ビルを
めざ
を目指して
ひなんかいし
避難開始

津波警報解除
避難勧告解除

同じ階の住民の無事を確認できたら、
上階・下階の住民の方が無事かどうか
の確認、避難支援を！

さいがい きけんかいじょう
災害の危険解消
じたく たいざい かのう
自宅での滞在が可能か

ざいたくひなん 在宅避難
ひなんじょとう 避難所等*へ

*避難所は東海学区災害対策委員、市職員、または施設管理者が施設の安全確認をした上で開設する。

- 逃げ遅れないように早めの避難開始
- 隣近所へ大きな声で声かけしながら、あらかじめ決めた津波避難ビルへ避難
- 持てる量の非常持出袋を持って避難
- 落下物など周囲の危険に気をつけて避難

海岸や河川には
絶対近づかない！